

第1回常任理事会会議録

日 時 平成19年4月16日(月)午後1時~同3時12分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、高木忠雄、佐藤田鶴子、
平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、
栗原英見、荒木孝二
□第21回日本歯科医学会総会
<準備委員長> 伊藤公一
欠席者 <常任理事> 相馬邦道、宮崎 隆

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

(ここで、日程の一部を変更し、協議に入った。)

4. 協 議

1) 常任理事の指名について

住友総務理事から、常任理事の欠員に伴う補充(1名)について諮られ、人事案件であり、江藤会長が日本補綴歯科学会選出の平井敏博先生を常任理事に指名し、全会でこれを承認した。

2) 理事の業務分担について

住友総務理事から、理事の交替に伴う、役員業務分担の変更について諮られ、原案どおり決定した。

- ▷ 英文雑誌 平井常任理事（前任者：赤川常任理事）
- ▷ 歯科学術用語 岡野理事（前任者：石橋理事）
- ▷ 歯科評価 覚道理事（前任者：岡野理事）

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告（平成19年3月9日～4月15日）
- 第11回常任理事会会議録（平成19年3月9日開催）
（日本歯科医学会平成19年度諸会議開催予定）

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

- 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告
（平成19年3月9日～4月15日）
- 第1回記者会見用プレスリリース

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

- 学会会計（平成18年4月1日～平成19年3月31日）
- 第21回日本歯科医学会学術大会会計
（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

- ① 「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等
黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。
- ② 「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等
黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

③ 歯科診療報酬の評価・再評価の提案書への対応（整理・分類）

黒崎副会長から、標記について、3月29日と4月6日付けで各専門分科会へ医療技術の評価・再評価に係る提案書の提出を依頼した経緯の説明がなされた。

引き続き、4月20日の締め切りをもって各専門分科会から提出された提案書の整理・分類作業の担当者には、住友総務理事と荒木常任理事が指名された。

④ 歯科診療ガイドラインの作成

▶ 実践マニュアル／エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策（診療ガイドライン）の認定

佐藤常任理事から、今後発刊予定である標記ガイドラインの実践マニュアル版について、企画。制作中のチラシ（案）を基に報告がなされた。

- ・ 監修権者 日本歯科医学会（代表 江藤一洋）
- ・ 出版権者 株式会社永末書店（代表取締役 永末摩美）
- ・ 定価 2,400円（会員特別価格 1,800円）

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶ 歯科医療機器産業ビジョン作成協議会報告（第6回）

江藤会長から、標記について、会議録を基に報告がなされた。

(3) 学会機構改革の推進

江藤会長から、本学会の機構及び運営上の問題点を洗い出し、担当である井出副会長と事前協議を進め、対応を図る旨の報告がなされた。

(4) 認定医・専門医制度の確立

① 日本歯科保存学会及び日本補綴歯科学会の専門医資格認定団体の申請

② 日本インプラント学会の専門医資格認定団体に係る基準該当届

住友総務理事から上記2点について報告がなされた。

(5) 国際交流の推進

①タイロイヤルデンタルカレッジとの学術交流協定の締結について

江藤会長から、標記学術交流協定を5月上旬に締結する旨の報告がなされた。

②中華口腔医学会との会談 覚書

江藤会長から、標記学会との会談について資料を基に報告がなされた。

③FDIにおける日歯支援体制の構築

江藤会長から、標記については、神原教授（大歯大）のもとで具体案を作成中である旨の報告がなされた。

5) ISO/TC106会議への取り組みについて

住友総務理事から、標記会議の担当には、岡野理事を指名する報告がなされた。

6) 理事・評議員・各種委員会委員の交替について（日本補綴歯科学会）

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

- ・ 理 事 平井敏博（北海道医療大学歯学部）
- ・ 評議員 佐々木啓一（東北大学大学院歯学研究科）
- ・ 同 古谷野潔（九州大学大学院歯学研究院）
- ・ 同 矢谷博文（大阪大学大学院歯学研究科）

7) 歯科学術用語集の出版契約について

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

8) 歯科保険治療に用いる矯正治療用機器並びに材料等の取り扱いについて

黒崎副会長から、標記について資料を基に報告がなされ、既に関連する社団法人日本口腔外科学会と日本矯正歯科学会へ通知していることを確認した。

9) 歯科医療安全における心肺蘇生法の取り扱いについて

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされ、対応委員会の設置の必要性が確認された。

10) 医師又は歯科医師に対する継続的医学教育に関する依頼について

住友総務理事から、標記依頼について資料を基に報告がなされた。これは、本年4月1日より、行政処分を受けた医師又は歯科医師に対して再教育研修を実施するものであり、各専門分科会へ情報提供することとした。

11) 診療行為に関連した死亡の死因究明等のあり方に関する課題と検討の方向性に対するパブリックコメントの募集について

住友総務理事から、標記募集について資料を基に報告がなされた。これは、本学会が「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」へ参加している立場から関係方面へパブリックコメント求めるものである。

12) 平成19年度8020研究事業の公募について

住友総務理事から、標記研究事業の公募について、資料を基に報告がなされた。

この件については、各専門分科会へ情報提供することとした。

13) 第4回（平成19年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について

住友総務理事から、標記候補者の推薦について、資料を基に報告がなされた。

この件については、各専門分科会へ情報提供することとした。

14) 歯の健康を考えるシンポジウム「介護の観点から考える歯周病と全身疾患～誤嚥性肺炎を中心に～」への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記後援名義貸与について資料を基に報告がなされ、既に使用許可の回答が済んでいることを確認した。

15) 「メタボリックシンドローム撲滅運動キャンペーン」第二年度に対する後援名義貸与について

住友総務理事から、標記後援名義貸与について資料を基に報告がなされ、既に使用許可の回答が済んでいることを確認した。

- 16) 会長報告（日本歯科医師会第158回代議員会・第14回理事会報告等）
江藤会長から、日歯第158回代議員会および第12回理事会報告がなされた。

4. 協 議

3) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

① 歯科医療協議会の設置について

江藤会長から、標記協議会の設置について、委員構成（案）の資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおり決定した。

② 専門部会の設置について

江藤会長から、本協議会の部会の設置について諮られ、提案どおり決定した。

なお、部会の委員構成は、先日開催された次期診療報酬改定における歯科医療技術評価提案書に関わる説明会に出席した専門分科会（社保担当者）メンバーとし、部会長には荒木常任理事が指名され、決定した。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶ 歯科医療技術革新推進協議会の立ち上げについて

江藤会長から、標記協議会の立ち上げに関わる趣旨説明がなされ、協議の結果、同協議会の設置を決定した。今後、この組織の在り方と運営方針について、検討メンバーを中心に次回協議することとした。

(3) 学会機構改革の推進

▶ 認定分科会登録申請について

住友総務理事から、標記申請に関する公示期間が4月1日から4月16日までであり、本日最終日現在、15学協会の届け出について報告がなされた。今後、専門分科会資格審査委員会の審査に入ることが確認された。

(4) 専門医制度の確立

①専門医制協議会の設置について

江藤会長から、標記協議会の設置について諮られ、協議の結果、日本口腔インプラント学会からの「口腔インプラント専門医」の申請を踏まえ、設置を決定した。なお、協議会委員の選考については、会長一任とした。

②専門医制審議会の設置について

江藤会長から、標記審議会の立ち上げに関わる趣旨説明がなされ、協議の結果、有識者を交えた委員構成とすることで同審議会の設置を決定した。

(5) 国際交流の推進

▶日中歯科医学大会2008（仮称）の開催について

江藤会長から、標記大会の開催について諮られ、協議の結果、同大会の開催を決定した。引き続き、同大会の準備・運営を進めるために準備委員会の設置も併せて決定し、委員の選考については会長一任とした。

- ・ 開催期間：2008年9月16日から18日までの3日間（予定）
- ・ 開催場所：中国・西安

4) 事業計画の推進

(1) 日本歯科総合研究機構、日本学術会議と国際歯科研究学会日本部会（JADR）との連携協力のあり方

住友総務理事から、標記組織との人事交流推進について諮られ、協議の結果、関係団体との双方向人事の観点から本学会役員会へオブザーバーとしての出席を次のとおり決定した。

- ・ 日本歯科総合研究機構（石井拓男）＝常任理事会及び理事会
- ・ 日本学術会議（渡邊 誠）＝理事会
- ・ 国際歯科研究学会日本部会（小田 豊）＝理事会

(2) 学際領域問題検討委員会の設置について

江藤会長から、標記委員会の設置について諮られ、提案どおり決定。なお、委員会委員の選考については会長一任とした。

(3) シンポジウム「国民の期待に応える歯科医療を求めて」実行委員会の
立ち上げについて

住友総務理事から、標記委員会の立ち上げについて諮られ、原案どおり
決定した。

なお、委員会委員の選考については会長一任とした。

(4) 「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」における歯科評価
総括委員会委員の増員について

住友総務理事から、標記委員会委員の増員について諮られ、提案どおり
口腔病理分野と小児歯科分野からのそれぞれ1名ずつの追加を決定した。

なお、委員の推薦のあたっては在京の者を条件とした。

(5) 国際歯科研究学会日本部会（JADR）への助成金の交付について

住友総務理事から、標記団体への助成について諮られ、例年どおり80
万円の助成金を交付することを決定した。

(6) 2007年度日本矯正歯科協会学術大会への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記大会への後援名義の使用について諮られ、協議
の結果、相馬常任理事（日本矯正歯科学会会長）と相談の上決定すること
とした。

(7) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、別紙のとおり決定した。

▶別紙参照

5) その他

(1) 江藤会長から、本学会と専門分科会との連携協力の強化を図ることを
主目的に、各専門分科会理事会時における本学会役員との懇談について
提案があり、全会これを了承した。

なお、懇談会の実施については、受け皿となる各専門分科会の判断に
委ねるものとし、原則可能な限り実施することとした。

(2) 江藤会長から、感染防御指導衛生士と摂食嚥下指導衛生士の認定制度の検討について提案があり、本件については既存の臨時委員会である「衛生士業務に関わる検討会（座長：石井拓男）」へ諮問する方向で進めていくこととした。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。

【別添資料】

- ①エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策（診療ガイドライン）とリーフ
- ②歯科衛生士教育における臨地実習指導の在り方とその到達目標に関する研究
- ③メタボリックシンドローム撲滅運動キャンペーンオフィシャルガイドブック 2006